

地域から必要とされる、魅力ある企業 「こんな会社で働きたい」と思える会社へ

廣間組有限会社(徳島県那賀郡)

徳島県南部を流れる那賀川の上流に位置する那賀町木頭(旧木頭村)。ここは、徳島と高知の県境でもあり四季折々の自然環境に恵まれたとても美しいところです。廣間組有限会社は、この地で創業から公共土木工事に携わり、林道開設や予防治山、国道整備や災害復旧など、地域のライフラインを担う重要な仕事を続けています。ただ、その会社にも、等しく不景気の波がおとずれ、経営の苦しい時期があったのだといいます。

そうした時代に通用し、地域社会からも必要とされるには、人も企業も変わらないといけない—そのために同社は、環境こそ新しい柱になると考え、エコアクション21の導入を決めたそうです。エコアクション21の「環境経営」という考え方に共感、エコアクション21が自社の魅力のひとつになると信じて、「環境と経営の融合」に向けて努力を続ける同社ですが、今では社員の間にも環境意識が根付き、地域からも一目置かれるようになったといいます。

そんな同社にお邪魔して、エコアクション21の導入から今に至るまで、いろいろなお話を聞かせていただきました。



代表取締役社長 西田 静男

契機

「何かをしなければいけない」の思いで始めました

地域事務局のグリーン化プログラムがきっかけでした。当時、建設業界はとても苦しい時期で、人も機械も仕事も減り、日々の業務がある中でEA21に取り組む余裕など、正直ありませんでした。ただ、それと同時に「このままではいけない、何かをしなければ」と変化を求められている時期だとも感じました。木頭の森を見るにつれ、その変化の方向は環境では無いのかと考え、環境経営に目を向けるようになりました。そしてそのための手段として選ばせていただいたのが、エコアクション21です。

さらに、環境経営を通じて人や組織、会社が成長し、自分たちの仕事や職場に誇りが生まれ、「こんな会社で働いてみたい」と思えるような魅力ある会社づくりができればと考えました。雇用の面でも、これまで「建設業」という切り口だけでしたが、「環境」という一面が備わることで、新たな雇用機会を創出できたように思います。建設業に関わりのなかった人や若い世代の人達が環境問題から建設業に興味を持ち、どんどん当社の門を叩いてくれたらうれしいですね。

環境活動をわかってもらうまでが大変でした

重機のアイドリングを止める—この行動ひとつをとっても、周知・徹底には苦労しました。一度暖まったエンジンを止めるのは、たしかに効率が良くない。「仕事の効率が悪くなる」というのも理解できます。ただ、よく話を聞いてみると、実は面倒くさいだけだったりするわけです。こういう部分を何度も口に出してわかってもらうまで、環境担当の苦労は続いたようですね。その甲斐あって今では、反発していた人間がまさきに重機のエンジンを切りに走ったり、「もったいない」の声が出てきたりと、苦労したことがそのまま成果になってきています。

苦労

成果

「会社組織の変化」が実感できるようになりました

エコアクション21に取り組むことでPDCAサイクルが定着して、工事成績や現場利益も向上しています。ただ、それ以上に、社員の環境に対する意識が深まったことが大きな成果だと思っています。とくに「環境コミュニケーション大賞」を契機に気持ちにも変化が生まれ、エコ検定など環境に関わる資格取得に向けて自主的に勉強を始める若手も出てきました。さらに「認められた」ことでモチベーションが向上、全社員の自信と誇りにつながって、会社組織の体質がいい方向に変わっていると実感しています。

廣間組有限会社(代表取締役社長 西田 静男)

本社:徳島県那賀郡那賀町木頭出原宇イシノモト28-1

設立:1958年11月22日

資本金:3,500万円

事業内容:【特定建設業】土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、しゅんせつ工事業
【一般建設業】建築工事業、管工事業



EA21認証・登録番号:0006956

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdfn/0006956.pdf> をご覧ください)

環境負荷削減へのユニークな取り組み

「当たり前のことを当たり前」を合い言葉に、「お金をかけない」というエコアクション21の良さを引き出しながら、頑張っています。



- ・社有車の一部をエコカーに変更
- ・走行前のタイヤ空気圧のチェック
- ・4次規制の低燃費低排出型の重機に変更
- ・不使用時のエンジン停止を徹底



- ・ゴミの持ち帰り推進
事務所のゴミを削減するため、マイボックスを作り、各自でゴミを持ち帰るようにしています。
- ・産業廃棄物の再利用
コンクリート殻や根株等の産業廃棄物を可能な限りリサイクル、工事現場で再利用しています。



- ・出しっぱなし防止
洗車に使うホースを水力調整機能付きに変更、水の出しっぱなしを防止しています。
- ・雨水の有効活用
現場に雨水タンクを設置、清水が不要な場合に、貯まった雨水を利用しています。

お金をかけずに
省コスト

工事成績の向上



現場利益の向上

¥ 会社の利益



環境経営フォーラム
環境経営フォーラムで講演させていただきました

現場事務所

ゴミを捨てることもなく、きれいになりました



地域貢献
社員みんなで作業させていただいています。

森に暮らし
森と生きる
私たちがから

二酸化炭素を吸収して酸素を作るのは森林。雨水を蓄えて浄水し美しい川を作るのも森林。そして、その森林のほとんどは地方にあり、今も地方の人や企業が絶えず手を入れて守っています。これからも、こうした地方の“小さなアクション”に目を向けてほしいと思います。地方が元気になれば、この国が本当の意味で元気になることはないのですから。

そして、この春。森に花を咲かせる
新しい挑戦が始まりました。

